

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公表番号】特表2010-507451(P2010-507451A)

【公表日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2009-534642(P2009-534642)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/82 (2006.01)

A 6 1 K 49/04 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

|         |       |   |
|---------|-------|---|
| A 6 1 M | 29/02 |   |
| A 6 1 K | 49/04 | K |
| A 6 1 L | 31/00 | P |

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月10日(2012.1.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

脂肪族ポリエステルポリマーと；

リン酸緩衝剤の塩、クエン酸緩衝剤の塩及び塩化ナトリウムからなる群から選択される塩；を含む、

生分解性ポリマーステントであって、塩が存在しない該ステントに較べ、分解速度が増加するだけの充分な量の塩が存在する、生分解性ポリマーステント。

【請求項2】

前記塩が、ステントの0.01%から15%までの重量%含まれる、請求項1に記載のステント。

【請求項3】

前記塩が、ステントの2%から8%までの重量%含まれる、請求項1に記載のステント。

【請求項4】

前記塩が、リン酸塩である、請求項1に記載のステント。

【請求項5】

前記ポリマーが、ポリ-L-乳酸又はポリ-D,L-乳酸を含む、請求項1に記載のステント。

【請求項6】

前記ポリマーが、単一のポリマーである、請求項1に記載のステント。

【請求項7】

前記ポリマーが、コポリマーである、請求項1に記載のステント。

【請求項8】

脂肪族ポリエステルポリマーと；

リン酸緩衝剤の塩、クエン酸緩衝剤の塩及び塩化ナトリウムからなる群から選択される塩；を含む、

生分解性ポリマーステントの、生分解性速度を増加させる方法であって、

i ) 塩が存在しない該ステントに較べ、分解速度が増加するだけの充分な量の塩とポリマーを結合させるステップ、及び

i i ) ポリマーをステントに形成するステップ

を含む方法。

**【請求項 9】**

前記塩が、ステントの 0 . 0 1 % から 1 5 % までの重量 % 含まれる、請求項 8 に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記塩が、ステントの 2 % から 8 % までの重量 % 含まれる、請求項 8 に記載の方法。

**【請求項 11】**

前記塩が、リン酸塩である、請求項 8 に記載の方法。

**【請求項 12】**

前記ポリマーが、ポリ - L - 乳酸又はポリ - D , L - 乳酸を含む、請求項 8 に記載の方法。

**【請求項 13】**

前記ポリマーが、単一のポリマーである、請求項 8 に記載の方法。

**【請求項 14】**

前記ポリマーが、コポリマーである、請求項 8 に記載の方法。